



SĒP と私

ファン ティ チャー ジャン
PHAN THI TRA GIANG

SĒP というのは私の国の言葉でボスという意味です。私の上司のことです。仕事にはとても厳しく、最初はとても怖い人でした。

来日したのは19歳の時でした。生活も仕事も順調に過ごすと思像して来ましたが、仕事は予想以上に大変で、内向的な私は寮でも会社でもなかなか打ち解けられずにいました。毎日どうすれば先輩達みんなと仲良くできるか考えて過ごしていると、寮に帰っても気が休まらず、仕事に集中するのが難しくなることが増えていました。

そんな時沢山の製品が入った箱を床へ落としてしまい製品をだめにしてしまったことがありました。ミスをして青い顔になっている私に「あなたと話したいことがあります。時間をください。」と上司が声を掛けてきました。その場に向かう時は不安で怖くて心配で体が震えてきました。でもそこで言われたのは反対で「初めて異国に住んで色々あって、困ったことが沢山あったでしょう。聞きますから何でも話してください。」という言葉でした。ただ叱られると思っていた私は不安からの安心で、温かく優しい声に我慢できず涙が出ました。子供みたいに泣きながら片言の日本語で伝えました。全ては伝えられませんでした。それでも彼は「大丈夫。私の可愛い娘のためなら出来ることはしてあげますよ。だからあなたは自分の出来ることを一生懸命頑張るなさい。」と言ってくれました。可愛い娘と呼ばれて少しの恥ずかしさと、多くの幸せな気持ちを感じて心がとても温

かくなりました。

SĒP と私はもちろん家族ではありませんし、娘という言葉も冗談だと分かっていますが、本当の自分の娘のように面倒をみてくれ、応援してくれます。自分の出来ることを探して仕事以外でも日本語の勉強を始めました。N2に合格するかしらないかの頃からは後輩への指導の時に、彼に通訳として呼ばれることが増えました。いつもの仕事以外でも役に立てたと感じていると、「本当に成長しましたね。頼りにしていますよ。」と言われました。今まで生きて褒められることがほとんど無かった私にとって褒められるというのは、干上がった土地に待ちわびた雨が降ったような嬉しさを感じるのだと分かりました。

今書いている時は春で景色が桜色に染まっています。いつかは終わるこの時間を想うと寂しさも感じますが、ここで得たものは故郷に戻ってもきっと心に残るでしょう。

仕事ではまだ叱られることもあるけど、普段は冗談を言い合える関係にとても満足しています。日本に来た頃の幼くて内気な私から少しずつ成長を感じられているのも日本に父のような存在があるからだし、そのありがたみを強く感じています。いつもは照れてふざけてしまうけど、私の青春が素敵になっていると実感できるこの幸運に心から感謝しています。ありがとう。これからも娘は頑張ります。N1合格出来たらまた褒めてくださいね！

受賞の喜び



国 籍 ベトナム
職 種 プラスチック成形
実 習 実 施 者 株式会社岩井化成
監 理 団 体 グローアップ協同組合

ファン ティ チャー ジャン

作文コンクールに参加するのは3回目、来年は実習生でなくなる私にとって今回が最後のチャンスでした。だから後悔の無いように書き切ろうと思いました。上司から「優秀賞受賞しましたよ。」と聞いたときは言葉にならないほど嬉しかったです。何度ももういいかなと思ったけど、諦めなくて良かったと心から思います。

実は結果を待っている間に、ある夢をみました。それは自分の作文が今回受賞するという夢でした。その夢が現実となり正夢になりました。この受賞は私の人生の中で忘れられない大切な1ページとして良い思い出になるはずです。

今回受賞できたのも私だけの力だけではなく岩井化成の方々のおかげで、特に上司の応援が力になったこと心から感謝しています。

これからも技能を高めるために色々な事に挑戦して、日本語ももっともっと勉強していくのは勿論ですが、残り少ない実習生活も毎日良い時間を過ごせるように楽しんでいきます。

指導員のことば

出会ってもう5年も経ったと思うと時の速さを感じます。特にこの2年は仕事においても目を見張る成長を見せ続けてくれています。

コンクールも今年で3回目。最後の挑戦だから一字一句にこだわりたいと諦めなかったことが、このような素晴らしい結果となり、ジャンさんの書いた文章が沢山の目に触れる機会をいただけたこと、誇らしい気持ちでいっぱいです。

いつもと違う素直な言葉たちに目頭が熱くなりましたが、私もそれに恥じぬように、残りわずかになった実習も最後まで一緒に頑張りましょう。

ジャンさん優秀賞受賞おめでとうございます。

株式会社岩井化成 谷川 靖典